

メッセージアウトライン

日付	2011年8月28日
単元	基本的な教理・2
テーマ	悔改め
タイトル	救い・1 罪人が悔改めるとき
テキスト	ルカ15:1-7
参照箇所	創世記3章、イザヤ53:6、エゼキエル33:11、34:11-16、マタイ18:12-14、ルカ5:31-32
暗唱聖句	ルカ5:32 or ルカ15:7

導入	イエスさまは、取税人や罪人たちと親しくされました。イエスさまは、彼らに近寄って話を聞くことを許され、食事さえも一緒にされました。パリサイ人や律法学者たちは、そのことが気に入りませんでした。彼らは、神さまに受け入れられるのは、律法を守っている自分たちだけだと、自信満々だったからです。しかし、イエスさまは、例え話をして、彼らの間違いを指摘しました。
I	<p>人間は、神さまからはなれてしまいました(人間の罪について)</p> <p>A. 一匹の羊(人間)が羊飼(神さま)のもとから離れてしまいました</p> <p>B. 人間はもともと神さまのものです</p> <p>C. 人間は神さまからはなれ、自己中心に生きることを選びました</p>
II	<p>神さまは、ひとりひとりを愛してくださっています(神の愛について)</p> <p>A. 羊飼いは迷い出た一匹の羊を大切に思い見つけるまで捜しました</p> <p>B. 神さまはご自分からはなれてしまっている人間も大切に思っておられます</p> <p>C. 神さまはご自分からはなれてしまった人を捜しておられます</p>
III	<p>神さまは、罪人が悔い改めることを喜んでくださいます(悔改めについて)</p> <p>A. 迷い出た羊を見つけた羊飼いは大喜びで帰ってきました</p> <p>B. 神さまは罪人が悔改めを喜んでくださいます</p> <p>C. 悔改めとは、罪からはなれて神さまに立ち返ることです</p>
結論	神さまは、ひとりの罪人が悔改めを喜んでくださいます
適用	<p>1. 神さまは、あなたを特別に愛しています。あなたを捜し求めています。神さまにとって、あなたは特別に大切なのです。あなたが、神さまのところに戻るなら、神さまは最高に喜んでくださいます。今日信じられなくても、教会に通い続けてください。自分の力で頑張っても、神さまは見つかるまで捜してください、肩に抱えてあなたを導いてくださいます。神さまの愛が分かったときには、素直に悔改めればよいのです。</p> <p>2. 捜して救ってくださった神さまに感謝しよう。救われたことを喜ぼう。そして、あなたも、失われた魂を愛し、お友だちが救われることを、最高の喜びとしよう！お友だちや家族を導いて、救われたらホントにウレシイ！それを体験しよう！</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2011年9月4日
単元	基本的な教理・2
テーマ	永遠のいのち
タイトル	救い・2 命と滅び
テキスト	ヨハネ3:16
参照箇所	マタイ7:13,10:28,16:16、ヨハネ11:25-26,20:28、使徒2:24、ローマ6:23、ピリピ1:28
暗唱聖句	ヨハネ3:16

導入	私たちが救われるとは、どういうことでしょうか。永遠のいのちが、どんなにスバラシイものであるか、みなさんは知っているでしょうか？
I	<p>私たちは永遠に滅びるものでした</p> <p>A. 「滅び」とは、「第二の死」のことです</p> <p>B. 「第二の死」とは永遠に神さまから切り離されてしまうことです</p> <p>C. 神さまは、罪人がひとりでも滅びることを望んでおられません</p>
II	<p>神さまは御子イエスさまを与えてくださいました</p> <p>A. 罪が赦されるためにはいけにえが必要でした</p> <p>B. イエスさまは罪のない神の子です</p> <p>C. 神さまは完全ないけにえとしてイエスさまを与えてくださいました</p>
III	<p>神さまは、私たちに永遠の命を与えてくださいました</p> <p>A. イエスさまは十字架の上で死なれ、三日目によみがえられました</p> <p>B. イエスさまを信じる人には、「永遠の(よみがえりの)命」が与えられます</p> <p>C. 肉体が死んだ後も、私たちは神さまとともに天国で永遠に生きることができます</p>
結論	神さまは、御子キリストによって、私たちに永遠の命をあたえてくださいました
適用	<p>1. 今日のお話をきいて、永遠のいのちがどんなに大切かわかりましたか？あなたは、永遠のいのちをゲットしたいですか？イエスさまは、今あなたが信じるなら、それをくださいます。天国に行くチケットを手に入れましょう。</p> <p>2. 永遠のいのちを感謝しましょう。私たちが滅びから救うために、神のひとり子イエスさまが犠牲になってくださったのです。おかげで私たちは、神さまとの永遠の交わりに入れられたのです。日本ではまだ1億人以上の人が、イエスさまを信じていません。滅びに至る門は大きく、多くの人がそちらに向かっています(マタイ7:13)。あなたには何ができるでしょうか？だれにイエスさまを伝えることができるでしょうか？救いのために祈りましょう。そして、できることを今すぐ始めましょう！</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2011年9月11日
単元	基本的な教理・2
テーマ	信仰による義認
タイトル	救い・3 恵みと信仰によって
テキスト	ローマ3:23-24、エペソ2:8-9
参照箇所	マタイ20:28、マルコ10:45、ヨハネ5:24、16:8、使徒2:21、16:30-31、ローマ3:10、6:23、Iコリント1章、IIコリント5:10、ガラテヤ3:11、IIテモテ1:9、ヘブル11章、黙示録20:11-15
暗唱聖句	ローマ3:23 or エペソ2:8-9

導入	今日も、「救い」について、お話します。私たちは、救われるために何をしなければならぬのでしょうか？
I	<p>「義と認められる」とはどういうことでしょうか？(義認について、ローマ3:24)</p> <p>A. 義とは、神さまの定めた律法の基準に合っていることです</p> <p>B. 律法によって義と認められる人はだれもいません(ガラテヤ3:11)</p> <p>C. イエスさまを信じる人は、最期の裁判で「義と認められ」ます</p>
II	<p>神さまは、私たちが恵みによって義と認めてくださいます(恵みについて、ローマ3:24)</p> <p>A. 「恵み」というのは、神さまから一方的にいただく賜物(プレゼント)のことです</p> <p>B. イエスさまは、十字架の死によって、罪人の刑罰を負ってくださいました</p> <p>C. 罪人が神さまの裁判で義と認められるのは、ただイエスさまの十字架の恵みによるのです</p>
III	<p>神さまは私たちが信仰によって義と認めてくださいます(信仰について、エペソ2:8-9)</p> <p>A. 行いによって義と認められることはありません</p> <p>B. それはだれも誇ることがないためです</p> <p>C. 恵みを受け取る方法は、ただイエスさまを信じることだけです</p>
結論	イエスさまを信じる信仰によって、神さまは私たちが義と認めてくださいます
適用	<p>1. 今、あなたも「救い」という、神さまからのプレゼントを受け取ってみませんか？ そうすれば、あなたは義と認められます。天国に行くことが約束されます。ただ、それは信じる信仰によります。聖書のことが全部わかるからではなく、良い行いでもなく、ただ信じる人はだれでも救われるのです。</p> <p>2. あなたが救いの恵みを受けることができたのは、あなたのチカラではありません。あなたがどんな経緯で救われたか考えてみてください。全ては神さまがしてくださったのです。感謝しましょう。エペソ2:8-10を読みましょう。恵みによって義と認められたのですから、もう罪を犯すことがないように、かえってこれからは良い行いをしましょう</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2011年9月18日
単元	基本的な教理・2
テーマ	子とされること
タイトル	救い・4 神さまの子とされる
テキスト	ヨハネ1:12
参照箇所	ヨハネ3:1、ローマ8:14-17、ガラテヤ4:4、マラキ2:10、ヨハネ1:13、詩篇103:8、エペソ4:32、ローマ5:10、出エジプト4:22、エレミヤ31:9、ホセア11:1
暗唱聖句	ヨハネ1:12

導入	救いというのは、単に罪が赦されるだけではありません。今日は、イエスさまを信じると、神さまの子どもとされるというお話です。
I	<p>私たちが神の子と呼ばれるために、神さまはすばらしい愛を与えてくださいました(ヨハネ3:1)</p> <p>A. もともと神さまと人間は、親子という関係でした</p> <p>B. 人間の罪が神さまとの関係を壊しました</p> <p>C. 神さまの方から関係を回復してくださいました</p>
II	<p>神さまは私たちのお父さんです</p> <p>A. 神さまは単に裁判官ではありません</p> <p>B. 私たちは単に奴隷ではありません</p> <p>C. 神さまは私たちを捨てません</p>
III	<p>私たちは、神さまの相続人です</p> <p>A. 相続とは、親が持っているものを受け継ぐ人のことです</p> <p>B. 神さまは私たちに必要なものをすべて持っておられます</p> <p>C. 私たちは、神さまに何でもお願いすることができます</p>
結論	イエスさまを信じると神さまの子どもとされます
適用	<p>1. イエスさまを信じた人は、神さまの子どもです。お父さんと親しくなりましょう。お父さんの愛の中で心やすらぎましょう。決して見放すことなく、あなたの幸せを1番に考えてくださる父なる神さまに、何でもお話しよう。喜びも悲しみもどんな気持ちも全部受け止めてくださるよ。また、お父さんからたくさん学ぼう。お父さんと遊びながら色々教えてもらうように、教会や聖書と親しみ、楽しんで学ぼう。お父さんのすばらしさをたくさん吸収しよう。</p> <p>2. イエスさまを信じて、神さまの子どもになろう！ イエスさまを信じている人は、イエスさまを伝える人になろう。相続人である私たちは、永遠のいのち・愛・喜びなど、神さまから受けたものを、他の人にも分けられるのです。救いを伝えて、みんな神さまの家族になろう！</p>
備考	

